| 科目ナンバリング | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名<英訳> | 現代史概論―ナチズムを中心に<br>Introduction to Modern History: focus on National Socialism | | | 担当者所属職名・氏名 | 人文科学研究所 准教授　藤原　辰史 | | |
| 群 | 人文・社会科学科目群 | 分野(分類) | 歴史・文明(各論) | | | 使用言語 | 日本語 |
| 旧群 | A群 | 単位数 | 2単位 | 週コマ数 | 1コマ | 授業形態 | 講義（対面授業科目） |
| 開講年度・開講期 | 2024・前期 | 曜時限 | 水2 | 配当学年 | 全回生 | 対象学生 | 全学向 |

**[授業の概要・目的]**

まず、現代史の捉え方を受講生とともに考える。時代区分、ジャンルなどさまざまな視角から現代史に光をあてる。

そのあと、現代史の問題をナチスを中心に考える。第一次世界大戦を起点として始まる「現代」は、ドイツにおけるナチズムの歴史のなかで、その矛盾を爆発させたといえる。大衆操作、大量殺戮、生の管理、など、ナチズムを特徴付ける諸現象は、まさに現代の典型的な諸現象である。つまり、ナチズムをみつめることは、現代史の深層をみつめることであり、いま、私たちが生きている時代をみつめることでもある。

**[到達目標]**

・現代史について考える枠組みを構築する。
・現代史の大まかな流れを知る。
・ナチズムについて基本的な事実を知る。

**[授業計画と内容]**

1　「現代」とはなにか
2　現代史の概観
3　第一次世界大戦：飢え
4　第一次世界大戦：民衆
5　ナチスのかたち
6　ヒトラーについて
7　ゲッベルスについて
8　ナチスの収穫感謝祭
9　ナチスの文化：絵画を中心に
10　台所からみたナチス
11　食と農からみたナチス
12　暴力の問題
13　アウシュヴィッツ
14　まとめ：ナチズムとは、現代とは
フィードバック方法は別途連絡します。

**[履修要件]**

特になし

現代史概論―ナチズムを中心に(2)へ続く↓↓↓

**現代史概論―ナチズムを中心に(2)**

**[成績評価の方法・観点]**

学期末のレポート

**[教科書]**

授業中に指示する

**[参考書等]**

（参考書）
エリック・ホブズボーム『２０世紀の歴史』（三省堂）
木畑洋一『２０世紀の歴史』（岩波書店）ISBN:978-4004314998

**[授業外学修（予習・復習）等]**

講義中に勧めた本を読む。

**[その他（オフィスアワー等）]**